

令和7年度 工賃向上計画書

事業所（施設）名	就労継続支援B型事業所つばさ				事業種別	就労継続支援B型		
平均工賃の推移	前々年度（令和5年度）実績				前年度（令和6年度）実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	14,488	17,584	15,934	月額	20,973	24,107	22,540
	時間額	307	425	358	時間額	314	376	344
平均工賃の目標	今年度（令和7年度）目標				令和8年度以降の目標			
	期	上半期	下半期	通期	期	令和8年	令和9年	
	月額	19,212	19,212	19,212	月額	18,000	18,500	
前々年度と比較した前年度の工賃支給状況	支払総額		() 増加傾向 () 横ばい傾向 (○) 減少傾向					
	延べ工賃支払対象者		(○) 増加傾向 () 横ばい傾向 () 減少傾向					
	延べ勤務時間数		(○) 増加傾向 () 横ばい傾向 () 減少傾向					
	平均	月額	() 増加傾向 () 横ばい傾向 (○) 減少傾向					
	工賃	時間額	() 増加傾向 () 横ばい傾向 (○) 減少傾向					
前年度の作業種目及び収入実績	作業種目		前年度収入額	割合	傾向			
	受託加工		3,401千円	88%	横ばい傾向			
	自主製造・販売		218千円	6%	販売先拡大等により収入増加			
	仕入・販売		191千円	5%	販売先拡大等により収入増加			
	飲食		千円	%				
	サービス		千円	%				
	他 ()		千円	%				
	合計		3,844千円	100%	全体的に横ばい傾向			
前年度に工賃向上に効果があった具体的な事項	小型家電の解体作業は受注量を増やすため、公用車を一台追加購入した。作業スペースの確保のために作業室のリフォームを行った。非常勤職員の新たな採用も現場職員の負担減、作業の効率アップにつながった。							
工賃向上のためにクリアしなければならない課題事項（複数回答可）	() 販売品に魅力がない () 販売品種が少ない () 販売先が限られている () 立地条件が悪い (○) 受注単価が安い () 多量の注文が受けられない () 他事業所とのネットワークがない (○) 職員の作業負荷増大 () 利用者の作業負荷増大 () 職員のコンセンサス (○) 利用者特性 (○) その他 (受託加工の新規請負先開拓が必要)							
計画している改善策（複数回答可）	() 品質の向上 (○) 販路開拓 () 新商品開発 () 他事業所とのネットワーク化 (○) 内部努力 () 作業種目の見直し (○) 職員の意識啓発 (○) 神奈川県工賃向上支援事業への積極的な参加 (○) その他 (受託加工請負先の新規開拓)							
工賃向上のために各年度に取り組む具体的方策	令和6年度：自主製品の開発に向けた利用者ミーティング・職員ミーティングの開催。 ・インターネットやSNS等を利用し、販路の拡大や宣伝活動を行う。 ・他事業所との情報の共有・業務分担。							
	令和7年度：自主製品の開発に向けた利用者ミーティング・職員ミーティングの開催。 ・インターネットやSNS等を利用し、販路の拡大や宣伝活動を行う。 ・工賃向上セミナー等に職員が積極的に参加して、工賃アップのノウハウを取得する。							
	令和8年度：自主製品の開発に向けた利用者ミーティング・職員ミーティングの開催。 ・工賃向上セミナー等に職員が積極的に参加して、工賃アップのノウハウを取得する。 ・販路拡大を目的として、イベント等には積極的に参加する。							

令和7年度 工賃向上計画書

事業所(施設)名	就労継続支援B型事業所 つばさ第二				事業種別	就労継続支援B型		
平均工賃の推移	前々年度(令和 5 年度)実績				前年度(令和 6 年度)実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	10,963	10,490	10,726	月額	10,020	12,008	11,014
	時間額	150	159	154	時間額	143	183	162
平均工賃の目標	今年度(令和 7 年度)目標				令和 8 年度以降の目標			
	期	上半期	下半期	通期	期	令和 8 年	令和 9 年	
	月額	11,260	11,260	11,260	月額	11,500	11,700	
前々年度と比較した 前年度の 工賃支給状況	支払総額		() 増加傾向 () 横ばい傾向 () 減少傾向					
	延べ工賃支払対象者		() 増加傾向 () 横ばい傾向 () 減少傾向					
	延べ勤務時間数		() 増加傾向 () 横ばい傾向 () 減少傾向					
	平均 工賃	月額	() 増加傾向 () 横ばい傾向 () 減少傾向					
		時間額	() 増加傾向 () 横ばい傾向 () 減少傾向					
前年度の作業種目 及び収入実績	作業種目		前年度収入額	割合	傾向			
	受託加工		996 千円	59 %	受注先企業の景気に波があり全体的に減少			
	自主製造・販売		704 千円	41 %	販売好調により収入増加			
	仕入・販売		0 千円	0 %				
	飲食		0 千円	0 %				
	サービス		0 千円	0 %				
	他()		0 千円	0 %				
	合計		1,700 千円	100 %	全体的に減少傾向			
前年度に工賃向上に 効果を上げた具体的 な事項	自主製品については、新規顧客開拓により増収となるが、受託加工については、主たる受注先からの作業量減少が続く、全体的には収入減となる。							
工賃向上のために クリアしなければならない課題事項 (複数回答可)	() 販売品に魅力がない () 販売品種が少ない () 販売先が限られている () 立地条件が悪い () 受注単価が安い () 多量の注文が受けられない () 他事業所とのネットワークがない () 職員の作業負荷増大 () 利用者の作業負荷増大 () 職員のコンセンサス () 利用者特性 () その他(受託加工の新規請負先開拓が必要)							
計画している 改善策 (複数回答可)	() 品質の向上 () 販路開拓 () 新商品開発 () 他事業所とのネットワーク化 () 内部努力 () 作業種目の見直し () 職員の意識啓発 () 神奈川県工賃向上支援事業への積極的な参加 () その他(受託加工請負先の新規開拓)							
工賃向上のために 各年度に取り組む 具体的方策	令和6年度： 受託加工の請負先企業が限られており、利用者特性を活かせる受託作業を新規開拓することにより、作業の効率化と工賃原資の底上げを図る。							
	令和7年度： 事業所間における情報交換の機会を増やし、工賃向上の好事例を参考にした取り組みを試行する。							
	令和8年度： 工賃向上研修会等への積極的な参加により、これまで以上に職員への意識づけを高める。							